

指導内容・方法の工夫

学力調査結果の概要

【国語】伝えたいことを明確にしたり、情報や語句の関係の表し方を理解して使ったりする問題は、正答率が80%を超えておりよくできている。物語文の人物像を具体的に想像したり、心に残ったことや理由をまとめたり、自分の言葉で記述することは、全国・東京都の平均より正答率が低く、苦手な傾向にある。物語を読んで、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたこと自分の言葉で文章に表すことができるように指導する必要がある。

【算数】全ての領域の全平均正答率において、都平均、全国平均を上回り、よくできている。数量の関係を□を用いた式に表す問題では、正答率が92%を超えている。図形の問題でも、直方体の見取図を読み取ることは得意であるが、立体の体積を求め方を式に表すことは苦手な傾向にあると見られる。折れ線グラフや道のりと時間の関係を言葉で表すことが苦手な傾向にあるので、条件に当てはまることや理由を言葉と数を用いて説明ができるように指導する必要がある。

国語科指導の工夫

【国語科(言葉)の見方・考え方】 対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

「言語活動」の指導の充実

国語科においては、「適切に表現する能力」と「正確に理解する能力」を育成することが、最も基本的な目標とされている。また、知識・技能を修得するのも、これらを活用し課題を解決するために思考し、判断し、表現するのも全て言語によって行われるものであり、これらの学習活動の基盤となるのは、言語に関する能力であることから、言語に関する能力を育成する中核的な教科である国語科を中心として「言語活動」の充実を図る。

■■■授業改善の具体策■■■

国語科の学習における「話すこと・聞くこと」「書くこと」及び「読むこと」の各領域において、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる言語の能力を身に付けさせるため、日常生活に必要なとされる記録、説明、報告、紹介、感想、討論など、学校や児童の実態に応じて言語活動の充実を図る。

《各領域における言語活動の具体例》

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
第1・2学年	知らせたいことなどについて身近な人に紹介したり、それを聞いたりする	紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりする	事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読む
第3・4学年	図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする	疑問に思ったことを調べて報告する文書を書いたり、新聞に表したりする	記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合う
第5・6学年	調べたことやまとめたことについて討論などをする	意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりする	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読む

「考える力」の育成と「情報の扱い方」の指導

「思考力、判断力、表現力等」に関する目標には、考える力や感じたり想像したりする力を養うこと、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め自分の思いや考えをもつことなどができるようにすることが系統的に示されている。また、文章であらわされた情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるよう指導を行う。

	第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
情報と情報との関係	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。	考えとそれを支える理由や事例、全体と中核などの情報と情報との関係について理解すること。	原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。
情報の整理		比較や分類の仕方必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出店の示し方、辞書や辞典の使い方を理解し使うこと。	情報と情報との関係付の仕方、図などによる漢語語句との関係の表し方を理解し使うこと。

■■■授業改善の具体策■■■

「読解力」をはぐくむためには、教材文が「分からない」から「分かる」へ、さらに、「分かる」から「より分かる」ように児童を変容させる必要である。そのために、「文章を読み解く視点」を教材文に合わせて意図的・計画的に示し、深い読解ができる授業を行う。

《読むことの目標と読み解く視点》

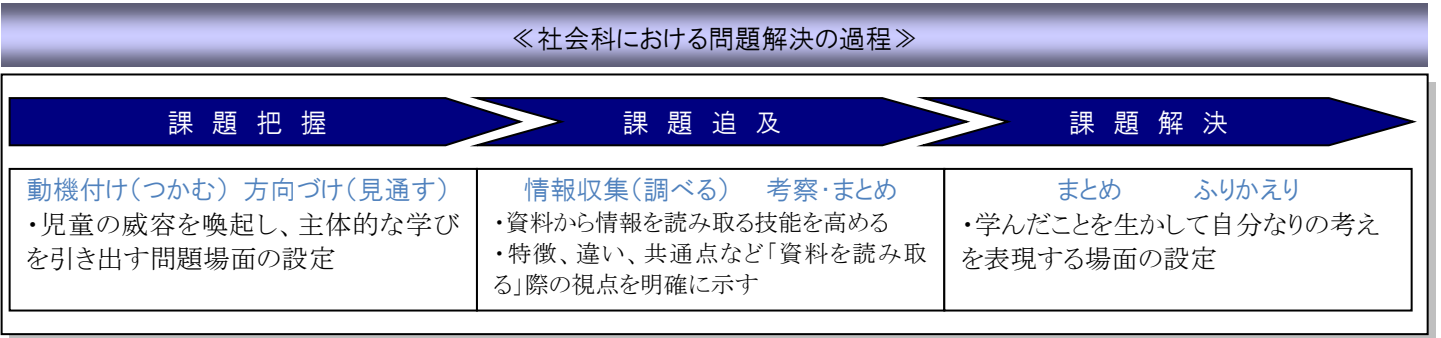
第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
事柄の順序 場面の様子 順序に従って内容をおさえたり、場面の様子に気付きながら読みとったりする。	内容の中心 段落相互の関係 文章の部分としての段落、段落と段落との関係、文章全体の関係、大事なところはどこかなど、筆者の主張や述べ方に目を向けさせる。	内容の把握 要旨の把握 作者や筆者の述べたい内容や述べ方をとらえる。それぞれの文章のもつ表現や文体に表れた意図や工夫、論理等をおさえな

社会科指導の工夫

【社会的事象の見方・考え方】位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、自称や人々の相互関係などに着目して、社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と結び付けたりすること

問題を追及・解決する学習

社会科においては、児童が課題を追求したり解決したりする問題解決的な学習過程を充実させることが大切である。問題解決的な学習過程の充実を図り、主体的・対話的で深い学びを實現するよう、児童が社会的事象から学習問題を見だし、問題解決の見通しをもって他者と共同的に追求し、追求結果を振り返ってまとめたり、新たな問いを見いだしたりする学習過程を工夫する必要がある。



授業改善の具体策

各学年の段階に応じて、観察、調査したり、地図や地球儀、統計、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したり、社会的事象の意味や働きなどについて考え、表現したりする力の育成するための指導の充実を図る。

第3・4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な情報を読み取る 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる 必要な資料を収集する 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な情報を読み取る 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる 複数の資料を関連付けて読み取る 必要な資料を収集したり選択したりする 資料を整理したり再構成したりする 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な情報を的確に読み取る 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる 複数の資料を関連付けて読み取る 資料の特徴に応じて読み取る 必要な資料を収集・選択したり吟味したりする 資料を整理したり再構成したりする

算数科指導の工夫

【数学的な見方・考え方】事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること

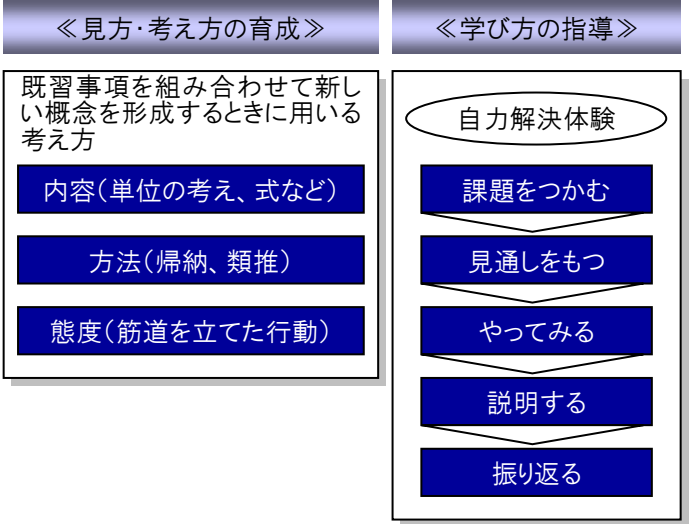
問題発見・解決能力を身に付ける学習

算数科においては、問題を解決したり、判断したり、推論したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えたり表現したりする力を高めていくことを重要なねらいとしている。既習の学習内容を基に考えさせたり、既有経験を生かして問題解決させたり、体験的に理解することを通して自ら課題を見付け、主体的に問題を解決する能力を身に付けさせる指導を行う。

授業改善の具体策

「課題をつかむ(何を学ぶのか)」「見通しをもつ」「やってみる」「説明する」「振り返る(何を学んだのか)」などの問題を解決する過程を意識的に授業に位置付け、見通しをもち筋道を立てて考

える力を育成する。また、児童が具体物や半具体物を用いたり、言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いたりして、自分の考えたことを表現したり、友達に説明したりする作業的・操作的・体験的な算数的活動を取り入れ、テープ図や線分図、数直線などを操作的



な「問題解決のアイテム」として使いこなせるよう、継続的、発展的に指導を行う。

理科指導の工夫

【理科の見方・考え方】身近な自然の事物・事象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの問題解決の方法を用いて考えること

問題を科学的に解決する学習

理科において、各学年で重点を置いて育成すべき科学的な思考力は右のように示されており、理解においても問題解決的な学習が重視されている。児童が自然の事物・現象に関心を持ち、見方・考え方を働かせてそこに問題を見いだし、解決する方法を考え、観察・実験などを行うことにより結果を得て、解決過程や結果について相互に話し合う中から、結論として科学的な知識・技能や問題解決の力などを身に付けることのできる指導を行う。

《各学年で育成する科学的な思考力》

第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
比較	関係付け	条件制御	多面的追求

■■■授業改善の具体策■■■

学習ノートやワークシートを使用する際にも、「問題」「予想・仮説」「実験」「結果」「考察」「結論」などの記述を積極的に取り入れるよう働きかけ、問題解決の過程を児童にも意識づける指導を行う。また、何が同じで何が違う？(比較)、変化を引き起こす要因は？(関係付け)、どの条件を変えて比べる？(条件制御)、いくつかの結果から分かることは？(多面的追求)など、学年に応じて児童に働きかける視点を明確にし、科学的な思考力をはぐくむ指導を行う。

また、観察・実験において、結果を表やグラフに表したり、予想や仮説と関係付けながら考察を言語化したり、モデル図に表したりして表現することを重視し、言語活動の充実を図る。さらに、問題解決的な学習方法について、中学校との接続を図る。

《理科における問題解決の過程》

